

2025年度

ITエンジニア科 講義計画集

— 第1学年 —

氏名

.....
船橋情報ビジネス専門学校

〒273-0005 船橋市本町7-12-16

電話:047-425-1051
.....

2025年度 (令和7年度) 年間計画表

2025/3/19 現在

前期												後期																																
4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月											
1 火			1 木	研修合宿 (木4回)		1 日			1 火	火11回		1 金			1 月			1 水	水3回		1 土			1 月	月10回		1 木	元旦		1 日			1 日											
2 水	オリエンテーション		2 金	研修合宿 (金4回)		2 月	月8回		2 水	水12回		2 土			2 火			2 木	木4回		2 日			2 火	火10回		2 金			2 月	後期試験 月16回		2 月			2 月								
3 木			3 土	憲法記念日		3 火	火7回		3 木	木12回		3 日			3 水	部活動合宿		3 金	金4回		3 月	文化の日		3 水	水11回		3 土			3 火	火15回		3 火			3 火			3 火					
4 金	入学式		4 日	みどりの日		4 水	水8回		4 金	金13回		4 月			4 木	部活動合宿		4 土			4 火	火6回		4 木	木12回		4 日			4 水	追試		4 水			4 水			4 水					
5 土			5 月	こどもの日		5 木	木8回		5 土			5 火			5 金			5 日			5 水	水7回		5 金	金13回		5 月			5 木			5 木			5 木			5 木					
6 日			6 火	振替休日		6 金	金9回		6 日			6 水			6 土			6 月	月4回		6 木	木9回		6 土			6 火	↓		6 金			6 金			6 金			6 金		卒業式			
7 月			7 水	水4回		7 土			7 月	月13回		7 木			7 日			7 火	火3回		7 金	金9回 ひろえぼ船橋		7 日	ジョブパス		7 水	新年の会		7 土			7 土			7 土			7 土					
8 火			8 木	月曜振替4回		8 日	科目A免除試験		8 火	火12回		8 金			8 月			8 水	水4回		8 土			8 月	月11回		8 木	木14回		8 日			8 日			8 日			8 日					
9 水	前期スタート 水1回		9 金	金5回		9 月	月9回		9 水	水13回		9 土			9 火			9 木	木5回		9 日			9 火	火11回		9 金	金14回		9 月			9 月			9 月			9 月					
10 木	木1回		10 土			10 火	火8回		10 木	体育祭 (木13回)		10 日			10 水	後期スタート 水1回		10 金	金5回		10 月	月7回		10 水	水12回		10 土			10 火			10 火			10 火			10 火					
11 金	金1回		11 日			11 水	水9回		11 金	金14回		11 月	山の日		11 木	木1回		11 土			11 火	火7回		11 木	木13回		11 日			11 水	建国記念の日		11 水			11 水			11 水			11 水		
12 土			12 月	月5回		12 木	木9回		12 土			12 火	受付 業務停止		12 金	金1回		12 日	国家試験		12 水	水8回		12 金			12 月	成人の日		12 木	卒業研究発表会		12 木			12 木			12 木			12 木		
13 日			13 火	火4回		13 金	金10回		13 日			13 水			13 土			13 月	スポーツの日		13 木	木10回		13 土			13 火	火12回		13 金	卒業研究発表会		13 金			13 金			13 金		終業式			
14 月	月1回		14 水	水5回		14 土			14 月	月14回		14 木			14 日			14 火	火4回		14 金	金10回		14 日			14 水	水13回		14 土			14 土			14 土								
15 火	火1回		15 木	木5回		15 日	県民の日		15 火	火13回		15 金			15 月	敬老の日		15 水	水5回		15 土			15 月			15 木	月曜振替12回		15 日			15 日			15 日			15 日					
16 水	水2回		16 金	金6回		16 月	月10回		16 水	水14回		16 土			16 火	火1回		16 木	木6回		16 日			16 火			16 金	金15回		16 月			16 月			16 月								
17 木	木2回		17 土			17 火	火9回		17 木	木14回		17 日			17 水	月曜振替1回		17 金	金6回		17 月	月8回		17 水			17 土			17 火	27卒Web面接練習		17 火			17 火								
18 金	金2回		18 日			18 水	水10回		18 金	金15回		18 月			18 木	木2回		18 土			18 火	火8回		18 木			18 日			18 水	成績発表		18 水			18 水								
19 土			19 月	月6回		19 木	木10回		19 土			19 火	成績発表		19 金	金2回		19 日			19 水	水9回		19 金			19 月	月13回		19 木			19 木			19 木								
20 日			20 火	火5回		20 金	金11回		20 日			20 水			20 土			20 月	月5回		20 木	木11回		20 土			20 火	火13回		20 金			20 金			20 金		春分の日						
21 月	月2回		21 水	水6回		21 土			21 月	海の日		21 木			21 日			21 火	火5回		21 金	金11回		21 日			21 水	水14回		21 土			21 土			21 土								
22 火	火2回		22 木	木6回		22 日			22 火	火14回		22 金			22 月	月2回		22 水	水6回		22 土	学校見学会		22 月			22 木	木15回		22 日			22 日			22 日								
23 水	水3回		23 金	金7回		23 月	月11回		23 水	水15回		23 土			23 火	秋分の日		23 木	木7回		23 日	勤労感謝の日		23 火			23 金	金16回 漢字検定		23 月	天皇誕生日		23 月			23 月			23 月					
24 木	木3回		24 土			24 火	火10回		24 木	木15回		24 日			24 水	水2回		24 金	金7回		24 月	振替休日		24 水			24 土			24 火			24 火			24 火								
25 金	金3回		25 日			25 水	水11回		25 金	金16回		25 月			25 木	木3回		25 土	若幸祭前日準備		25 火	火9回		25 木			25 日			25 水			25 水			25 水								
26 土			26 月	月7回		26 木	木11回		26 土			26 火	再試験発表		26 金	金3回		26 日	若幸祭当日		26 水	水10回		26 金			26 月	月14回		26 木	球技大会		26 木			26 木			26 木		プレスクール			
27 日			27 火	火6回		27 金	金12回		27 日	科目A免除試験		27 水			27 土	若幸祭振替休日		27 木	月曜振替9回		27 火			27 土			27 火	火14回		27 金	再試験発表		27 金			27 金								
28 月	月3回		28 水	水7回		28 土			28 月	前期試験		28 木			28 日	若幸祭振替休日		28 火	火12回		28 日			28 月			28 水	水15回		28 土			28 土			28 土								
29 火	昭和の日		29 木	木7回		29 日			29 火	火15回		29 金			29 月	月3回		29 水	月曜振替6回		29 土			29 月			29 火	火16回					29 日			29 日								
30 水	火曜振替3回		30 金	金8回		30 月	月12回		30 水	水16回		30 土			30 火	火2回		30 木	木8回		30 日			30 火			30 金	後期試験 月曜振替15回					30 月			30 月								
			31 土			31 木	追試		31 日			31 月			31 水	水8回		31 金	金8回		31 日			31 水			31 土			31 土			31 火			31 火								

※新入生オリエンテーションで胸部レントゲン撮影実施

体育祭:6月末~7月頭

※台風など臨時休校が多い時は12月3週で対応

※年間講義回数
月 31回
火 30回
水 31回
木 31回
金 32回

1学年

本校の教育方針	1
評価について／出欠席ルール	3
FJBネットID登録とメールアドレス	4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー	4
個人情報保護に関する基本方針	5
教育目標と検定スケジュール	6
セキュリティとネットワーク	矢野 孝裕	7
情報セキュリティ	矢野 孝裕	8
アルゴリズムとデータ構造 I・II	石神 和也	9
データベース	倉持 友也	11
国家試験対策	石神 和也・矢野 孝裕	12
自己啓発	杉山 剛	13
ストラテジとマネジメント	安井 健汰	14
ハードウェアとソフトウェア	矢野 孝裕	15
ビジネス実務	高橋 豊	16
ネットワーク技術	平野 智也	17
システム設計	矢野 孝裕	18
検定対策 I・II	石神 和也・矢野 孝裕	19
HTML演習	松本 沙耶	21
Java言語演習 I・II	須藤 健一郎	22
Office演習 I・II	森廣 永江	24
やってみなはれ演習 I・II	石神 和也・矢野 孝裕	26

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校長 鳥居 高之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいますからです。しかし2年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるのでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。2年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の2つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

3つの守り

本校がとても大切にしている3つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にするのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

- (1) バイク・自動車通学全面禁止。
- (2) 自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

- (1) 学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。
- (2) 授業開始前および終了後の5分間は使用禁止。(教員優先)
- (3) 3号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※路上はもちろん、駐車場やマンション共用部などの私有地での喫煙は地域の方に大変な迷惑をかけることとなります。

絶対にやめてください。(懲戒処分の対象となります)

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され過料(2,000円)の対象です

交通ルール

3号館前の大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。 takatorii@mitsuhashi.ac.jp

以上

評価について

- (1) 評価とは成績証明書にS～Dで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
- (2) 評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。(点または%)

S	90以上
A	80～89
B	50～79
C	40～49
D	39以下

- (3) 評価Dの者は、単位未修得者として処理される。
- (4) 評価Dの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はCとする。(特別な努力が認められたものは、B評価になることもある。)

GPA(Grade Point Average)

GPAとは、学生の成績の平均値を表したもので学期ごとにGPAを算出する。算出方法は以下の通り科目の評価(S～Dの5段階)に応じて、4.0～0.0の得点(GP)を設定し、科目ごとの得点(GP)に科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を履修科目の総単位数で割り、少数点第二位を四捨五入したものをGPAとする。

なお、GPAを算出するタイミングは各学期の成績発表時点とする。その時点で評価がDの科目のGPは、後日再試験に合格していても0.0となる。

$GPA = \frac{【GP \times 履修科目の単位数】の合計}{履修科目の総単位数}$

出欠席ルール

- (1) 遅刻3回で欠課1回、欠課6回(1年生はSHR分の遅刻1回を含む)で1日の欠席とみなし、次の条件で換算する
 - ・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻1」※SHRは1年生のみ
 - ・授業開始15分までの入室で「遅刻1」
 - ・授業開始15～45分までの入室で「欠課1」
 - ・授業開始45～60分までの入室で「欠課1+遅刻1」
※90分授業の前半45分の欠課1、後半15分までの遅刻1という考え方でカウントする
 - ・授業開始60分以降の入室で「欠課2」
- (2) 年間55日の欠席で進級停止、退学勧告。
- (3) 交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積10日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積10日になった時点で行う。
3	累積25日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積25日になった時点で行う。
4	累積40日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積50日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積55日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・1ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

卒業認定

以下の条件に基づき学校長と教職員による卒業判定会議を経て学校長に認められた者について卒業を認定する

- (1) 履修した全ての科目において単位修得していること
- (2) 原則として各年度において年間55日以上欠席がないこと

FJBネットID登録とメールアドレス

1. ユーザID登録について

本校では、学生1人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

2. メールアドレスについて

(1) 科によってメールアドレスが設定されています。

詳細は担任から説明があります。

(2) 「FJBインターネット&イントラネット」画面の「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

(3) Webメールでの各個人に与えられている容量は50MBまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

3. 緊急連絡について

クラスの諸連絡、台風や大雪等の休校等の連絡はグループコミュニケーションツールを使用します。(スマートフォンでも使用可能)各自、常に最新の投稿を確認するようにしてください。投稿を確認していない場合、自己責任です。またツールを使用する環境がない場合は担任に申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

1. 実習室の放課後開放について

放課後、午後6時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃(清掃時間を入り口に掲示)が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

2. 実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

3. 本校のパソコンに、ゲーム(その他ソフト)をインストールしてはいけません

雑誌の付録のCD-ROMを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

4. USBなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

5. 実習ファイルを保存するための領域をIドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。(卒業研究等、必要な場合を除く)

6. インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。HPやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

7. インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやシャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。

また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針（プライバシーポリシー）を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

1. 個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。
2. 個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。
3. 取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
 - (1) 本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
 - (2) 就職指導、企業紹介、就職活動支援を行うため
 - (3) 入学相談および募集活動を行うため
 - (4) 入学選考試験業務を行うため
 - (5) 各種証明書等の発行業務を行うため
 - (6) 上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため
4. 本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
 - (1) 在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
 - (2) 在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
 - (3) 学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
 - (4) 職業紹介で応募を希望する求人先に対し、応募情報の提供
 - (5) 職業紹介で求職者に開示の許諾を得た業務提携先に対し、応募情報の提供
 - (6) 就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
 - (7) 本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
 - (8) 上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合
5. 上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。
6. 以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長 鳥居 高之
047-425-1051
takatorii@mitsuhashi.ac.jp

2025年度 教育目標と検定スケジュール

1年生

ITエンジニア科

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 情報処理技術者試験(国家試験)、シスコ技術者認定試験の合格 情報処理技術者の基礎となる幅広い知識の修得 (アルゴリズム、プログラミング、情報セキュリティ、コンピュータシステムネットワーク、データベース、システム設計、ストラテジ、マネジメント) ITシステムの構築に必要な、論理的思考力の向上
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> ITパスポート試験、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験 シスコ技術者認定試験(CCNA)
1年次進級条件(資格)	<ul style="list-style-type: none"> ITパスポート試験合格 もしくは 情報検定(J検)情報活用2級取得 Microsoft Office Specialist Excel
2年次進級条件(資格)	なし
卒業条件(資格)	<ul style="list-style-type: none"> 漢字検定3級 ビジネス能力検定(B検) ジョブパス3級

<方針>

- ① 企業に役立つ高度な人材及び良き社会人としての成長を目指す
- ② 情報処理技術者の基礎となる幅広い知識を修得し、多様な資格取得にチャレンジする
- ③ オブジェクト指向の基礎に留まらず、システム開発技術を習得する

1年次: 資格取得(座学中心)

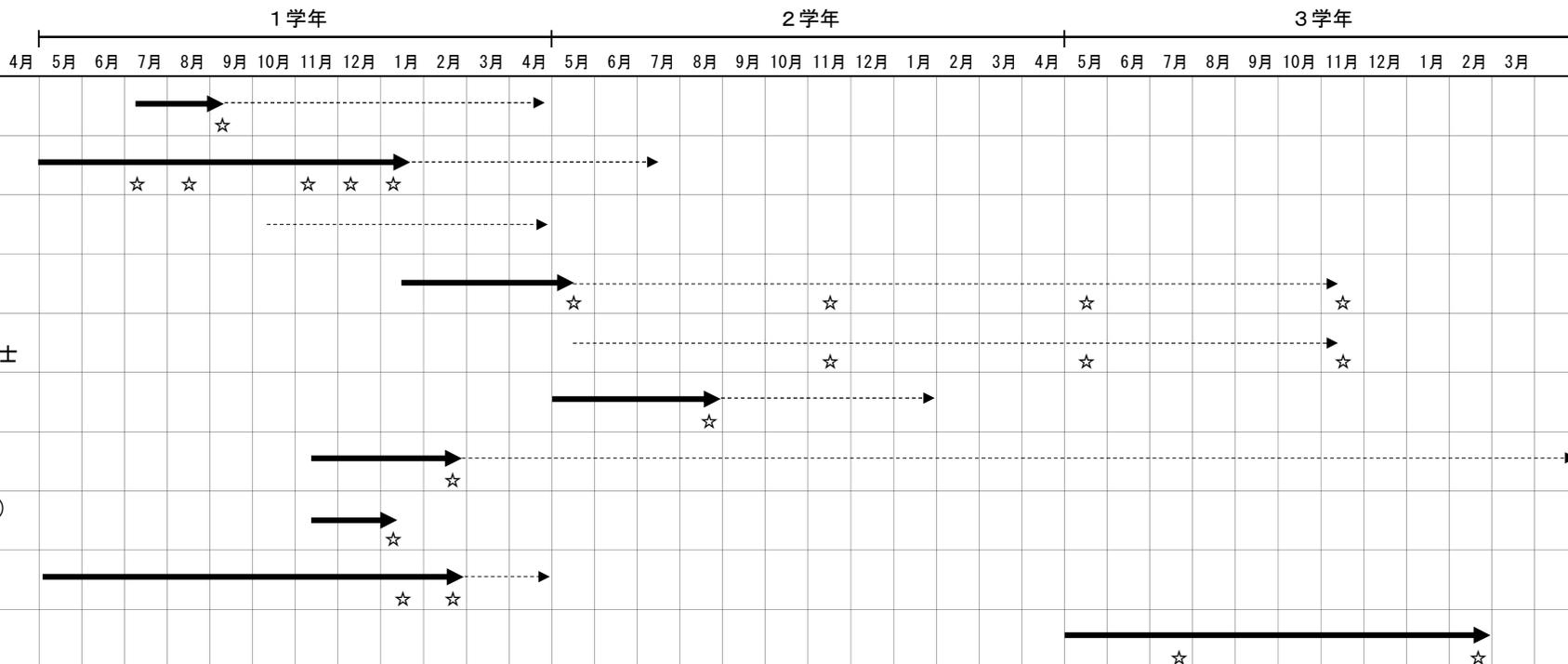
- 基本情報技術者試験の合格を第一目標に、IT基礎知識を修得する
- アルゴリズムの授業に力を入れ、プログラミング力を高める
- 2年次の応用情報技術者試験の受験に向けて学習を開始する

2年次: 演習+資格取得

- シスコ技術者認定試験(CCNA)の取得を目指す
- 応用情報技術者試験の合格を目指す
- アプリ開発やネットワーク構築に取り組み、システムエンジニアやネットワークエンジニアの仕事への意識を高め、就職活動に備える

3年次: 企業人1年生

- 自ら調べ考える習慣、問題発見解決能力を身につける
- 知識に加え、人と共に働く力や自ら考え行動する力の向上を図る
- プレゼンテーション能力、目的に応じたドキュメント作成の基礎を習得する



科目	セキュリティとネットワーク	分類	専門科目、必修科目
担当	矢野 孝裕		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	20%	20%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要

- (1) 経済産業省情報処理技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「ネットワーク」「セキュリティ」の知識を身に付ける
- (2) 基本情報処理技術者試験に向けて、必須分野である情報セキュリティに関する解法ポイントを押さえる

2. 授業の目標(検定取得など)

- (1) 「ネットワーク」「セキュリティ」の基礎知識を押さえ、経済産業省 基本情報技術者試験の科目A修了認定試験に合格する
- (2) 「ネットワーク」「セキュリティ」の基礎知識を押さえ、経済産業省 ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

- (1) 分野ごとの各項目が非常に多岐にわたるため、予習と復習をしっかりと行うこと
- (2) 講義時間は終始、要点説明が主となるため、関連科目の時間での問題演習を通して知識を自分のものとして押さえること

4. 関連科目

検定対策Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策、情報セキュリティ、ネットワーク技術

週	テーマ	内容
1	ネットワーク方式	授業の方針、ネットワークの種類と特徴、有線LAN、無線LAN 回線に関する計算、インターネット技術
2	データ通信と制御	ネットワークアーキテクチャ、伝送方式と回線、LAN間接続装置 伝送制御、メディアアクセス制御
3	通信プロトコル ネットワーク管理	通信プロトコルとインタフェース、ネットワーク運用管理 ネットワーク管理ツール、SNMP、インターネット、イントラネット
4	情報セキュリティ	情報セキュリティの目的と考え方、情報セキュリティの重要性、脅威 脆弱性、攻撃手法、情報セキュリティに関する技術
5	情報セキュリティ管理	リスク分析と評価、情報セキュリティポリシー 情報セキュリティマネジメントシステム、セキュリティ機関
6	情報セキュリティ技術評価、対策 情報セキュリティ実装技術	評価基準、ISO/IEC、セキュリティ対策(人的、技術的、物理的) セキュリティプロトコル、認証プロトコル、ネットワークセキュリティ
7	基本情報技術者試験 科目A修了認定試験対策(1)	過去問題を使用した問題対策(1)
8	基本情報技術者試験 科目A修了認定試験対策(2)	過去問題を使用した問題対策(2)
9	ITパスポート試験対策(1)	過去問題を使用した試験問題対策(1)
10	ITパスポート試験対策(2)	過去問題を使用した試験問題対策(2)
11	ITパスポート試験対策(3)	過去問題を使用した試験問題対策(3)
12	ITパスポート試験対策(4)	過去問題を使用した試験問題対策(4)
13	基本情報科目B試験対策 情報セキュリティ(1)	過去問題・予想問題を使用した試験問題対策(1)
14	基本情報科目B試験対策 情報セキュリティ(2)	過去問題・予想問題を使用した試験問題対策(2)
15	基本情報科目B試験対策 情報セキュリティ(3)	過去問題・予想問題を使用した試験問題対策(3)
16	前期試験期間	-

備考

システム開発経験のある教員が実務上で経験した事例を踏まえながら講義を展開する

科目	情報セキュリティ	分類	専門科目、必修科目
担当	矢野 孝裕		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	20%	20%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要

- 検定試験だけでなく、実務社会において必要かつ十分な情報セキュリティの知識を身に付ける
- 基本情報処理技術者試験に向けて、必須分野である情報セキュリティに関する解法ポイントを押さえる

2. 授業の目標(検定取得など)

- 試験問題を通して社会人として必要な情報倫理を身につけ、情報セキュリティに対する意識を向上させる
- 情報セキュリティにおける脅威を理解し、脅威に対する対応策に関する知識を身につける

3. 注意点・要望

- 分野ごとの各項目が非常に多岐にわたるため、予習と復習をしっかりと行うこと
- 講義時間は終始、要点説明が主となるため、関連科目の時間での問題演習を通して知識を自分のものとして押さえること

4. 関連科目

セキュリティとネットワーク、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	基本情報技術者試験 科目B試験対策(1)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(1)
2	基本情報技術者試験 科目B試験対策(2)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(2)
3	基本情報技術者試験 科目B試験対策(3)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(3)
4	基本情報技術者試験 科目B試験対策(4)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(4)
5	基本情報技術者試験 科目B試験対策(5)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(5)
6	基本情報技術者試験 科目B試験対策(6)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(6)
7	基本情報技術者試験 科目B試験対策(7)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(7)
8	基本情報技術者試験 科目B試験対策(8)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B問題対策(8)
9	情報処理技術者試験 午前試験対策～セキュリティ～(1)	情報処理技術者試験のセキュリティ分野の過去問題を使用した午前試験対策(1)
10	情報処理技術者試験 午前試験対策～セキュリティ～(2)	情報処理技術者試験のセキュリティ分野の過去問題を使用した午前試験対策(2)
11	情報処理技術者試験 午前試験対策～セキュリティ～(3)	情報処理技術者試験のセキュリティ分野の過去問題を使用した午前試験対策(3)
12	情報処理技術者試験 午前試験対策～セキュリティ～(4)	情報処理技術者試験のセキュリティ分野の過去問題を使用した午前試験対策(4)
13	情報処理技術者試験 午前試験対策～セキュリティ～(5)	情報処理技術者試験のセキュリティ分野の過去問題を使用した午前試験対策(5)
14	情報処理技術者試験 午前試験対策～セキュリティ～(6)	情報処理技術者試験のセキュリティ分野の過去問題を使用した午前試験対策(6)
15	情報処理技術者試験 午前試験対策～セキュリティ～(7)	情報処理技術者試験のセキュリティ分野の過去問題を使用した午前試験対策(7)
16	後期試験期間	-

備考 システム開発経験のある教員が実務上で経験した事例を踏まえながら講義を展開する

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	アルゴリズムとデータ構造 I	分類	専門科目、必修科目
担当	石神 和也		
テキスト (出版社)	疑似言語で学ぶアルゴリズム【第2版】(インフォテックサーブ) 基本情報技術者 科目B 問題集【第4版】(インフォテックサーブ)		
参考資料	オリジナル教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	20%	30%	100%		

1. 授業の概要

論理的思考力の向上を目的とし、基本情報技術者試験の合格を目指す。

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験の合格。論理的思考力を養い、応用情報技術者試験やシステム開発のための土台づくりを行う。

3. 注意点・要望

アルゴリズムの修得は地道な積み上げであり、個人差があるため、序盤は基礎的な学習を重点的に行う。
最先端のアルゴリズムも基礎的な構造の組み合わせである。簡単な問題でも楽しみつつ、高い意識を持って取り組むこと。

4. 関連科目

アルゴリズムとデータ構造 II

週	テーマ	内容
1	アルゴリズムとデータ構造について フローチャート	オリエンテーション、アルゴリズムとデータ構造の概要 フローチャートとは、記号(端子、処理、出力、判断、ループ)
2	変数	変数とは、変数の宣言と代入、変数の四則演算、変数の使い直し
3	条件分岐と論理演算	条件分岐とは、比較演算、論理演算、各種演算の組み合わせ
4	繰り返しとトレース	while型ループ、for型ループ
5	配列	配列とは、配列の四則演算、変数を使用する添え字、繰り返しと配列
6	科目A免除試験対策(1)	木構造、スタック、キューに関する試験対策
7	科目A免除試験対策(2)	ハッシュ、配列、リストに関する試験対策
8	科目A免除試験対策(3)	関数、再帰関数に関する試験対策
9	疑似言語(1)	疑似言語における変数
10	疑似言語(2)	疑似言語における条件分岐と論理演算
11	疑似言語(3)	疑似言語における繰り返しとトレース
12	疑似言語(4)	疑似言語における配列
13	2重ループと2次元配列	2次元配列の添え字・代入・出力・四則演算、2重ループ中の2次元配列
14	関数	関数とは、引数と戻り値、ループ中の関数、関数による階層、再帰関数、大域変数
15	前期試験期間	効果測定

備考	IT業界で8年以上システム開発に携わった教員が講義を行う
----	------------------------------

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	アルゴリズムとデータ構造 II	分類	専門科目、必修科目
担当	石神 和也		
テキスト (出版社)	基本情報技術者 科目B アルゴリズムとプログラミングトレーニング問題集 第2版(大原出版) 基本情報技術者 科目B問題集【第2版】(インフォテック・サーブ)		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	30%	20%	50%	100%		

1. 授業の概要
論理的思考力の向上を目的とし、基本情報技術者試験の合格を目指す。 Java言語演習と組み合わせ、講義と演習のハイブリット学習を行う。
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験の合格。論理的思考力を養い、応用情報技術者試験やシステム開発のための土台づくりを行う。
3. 注意点・要望
アルゴリズムの修得は地道な積み上げであり、個人差があるため、序盤は基礎的な学習を重点的に行う。 最先端のアルゴリズムも基礎的な構造の組み合わせである。簡単な問題でも楽しみつつ、高い意識を持って取り組むこと。
4. 関連科目
Java言語演習 I・II、アルゴリズムとデータ構造 I

週	テーマ	内容
1	基本情報技術者試験対策(1)	問題演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
2	基本情報技術者試験対策(2)	問題演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
3	基本情報技術者試験対策(3)	問題演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
4	基本情報技術者試験対策(4)	問題演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
5	基本情報技術者試験対策(5)	問題演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
6	基本情報技術者試験対策(6)	問題演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
7	基本情報技術者試験対策(7)	問題演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
8	基本情報技術者試験対策(8)	問題演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
9	基本情報技術者試験対策(9)	問題演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
10	基本情報技術者試験対策(10)	問題演習を通じ、問題の読み方、解答テクニックを身に付ける
11	ソートの実装アルゴリズム	選択ソート、挿入ソート、バブルソート、ヒープソート、マージソート、クイックソート
12	探索の実装アルゴリズム	線形探索法、2分探索法、ハッシュ表探索法
13	リスト構造の実装アルゴリズム	線形リスト、双方向リスト、環状リスト、スタック、キュー
14	木構造の実装アルゴリズム	幅優先探索、深さ優先探索、2分木
15	総合問題演習	これまで習った知識を使った総合問題演習
16	後期試験期間	-

備考	IT業界で8年以上システム開発に携わった教員が講義を行う
----	------------------------------

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	データベース	分類	専門科目、必修科目
担当	倉持 友也		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	30%	0%	30%	20%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要
データベースに関する基礎知識の学習 基礎知識の応用方法を学習
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する、ITパスポート試験に合格する
3. 注意点・要望
各授業の章末にチェックテストを行うので、各項目の習熟度を確実に把握し、復習を行うこと
4. 関連科目
検定対策 I

週	テーマ	内容
1	データベースの利点と設計手法、 データモデル作成、スキーマ	データベースとは、設計(概念・論理・物理)手順、 各種データモデルの作成、データベースの定義(DDL)
2	排他制御と障害回復処理、 データベースの種類	トランザクション処理、排他制御、障害回復処理、 集中・分散データベース、データベースの応用、コミット
3	関係データベースの基本演算、 テーブル定義・検索、副問合せ	基本演算の種類、SQL、テーブル定義、テーブル検索、 副問合せ、単一行副問合せ、複数行副問合せ
4	ビュー定義、その他のSQL、 正規化対策	ビュー定義、列の追加・削除・変更・データ型の変更、 データの挿入・削除・更新、正規化、第1正規化、第2正規化、第3正規化
5	基本情報技術者試験科目A免除試験 対策(1)	過去問題を使用した問題対策
6	基本情報技術者試験科目A免除試験 対策(2)	過去問題を使用した問題対策
7	基本情報技術者試験科目A免除試験 対策(3)	過去問題を使用した問題対策
8	基本情報技術者試験科目A免除試験 対策(4)	過去問題を使用した問題対策
9	SQL対策(1)	テーブル定義、テーブル検索
10	SQL対策(2)	副問合せ、単一行副問合せ、複数行副問合せ
11	SQL対策(3)	総合演習
12	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策
13	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策
14	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策
15	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策
16	前期試験期間	効果測定

備考	- 業務システム開発経験のある教員が講義を行う。
----	--------------------------

科目	国家試験対策	分類	専門科目、必修科目
担当	石神 和也・矢野 孝裕		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	7
	0%	0%	20%	20%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要

経済産業省情報処理技術者試験の取得に向けた対策を行う(過去問演習→補足解説→見直し)

2. 授業の目標(検定取得など)

経済産業省情報処理技術者試験に合格する
(ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験)

3. 注意点・要望

- (1) 試験合格を目指すのは勿論だが、社会に出てからも必要となる基礎知識を確実に身につけるべく取り組むこと
- (2) 試験直前期(1か月前)からは帰宅時間が遅くなるため、アルバイト等のスケジュール調整を行うこと

4. 関連科目

セキュリティとネットワーク、アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・Ⅱ、ハードウェアとソフトウェア、データベース、システム設計、情報セキュリティ、ストラテジとマネジメント

週	テーマ	内容
1	過去問演習(1)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
2	過去問演習(2)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
3	過去問演習(3)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
4	過去問演習(4)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
5	過去問演習(5)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
6	過去問演習(6)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
7	過去問演習(7)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
8	過去問演習(8)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
9	過去問演習(9)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
10	過去問演習(10)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
11	過去問演習(11)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
12	過去問演習(12)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
13	過去問演習(13)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
14	過去問演習(14)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
15	過去問演習(15)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し状況により補足解説の講義、個別フォローを実施
16	後期試験期間	-

備考

- IT業界でシステム開発に携わった教員が講義を行う。

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	自己啓発	分類	教養科目、必修科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
自己を見つめ、長所を探す。様々な事例を考察していく中で、就職活動等に役立つ啓発を行い、強い意志を育てる。
2. 授業の目標(検定取得など)
指示したグループ内で話ができるようにする。客観的長所や課題を言語化し、2分間自己PRができる。自信につなげる。
3. 注意点・要望
授業ファイルを携行してください。教科名ほど堅苦しくありませんが、しっかり出席してください。
4. 関連科目
ビジネス科目全般(特に社会人基礎力)

週	テーマ	内容
1	最後の学校としての認識	FJBの歩き方
2	SPI適性検査(1)	検査
3	SPI適性検査(2)	性格適性の採点、自分の“タイプ”を知る
4	SPI適性検査(3)	客観的長所や自己への課題を探す
5	啓発の方向性	あいさつの意味を考える
6	客観的長所	優しさのかたち
7	プロ意識とは	「自分が見ている」という考え方
8	人事の正体(1)	その人を見る視点
9	人事の正体(2)	バイトはプロかアマチュアか
10	人事の正体(3)	人事が用意するスペシャル質問
11	発想と実践	一流放送作家が行う発想法
12	人として(1)	情けは人のためならず
13	人として(2)	弱さを知った強さ
14	人として(3)	知っておきたいこと、夏のナイストライ
15	前期試験期間	-

備考	-
----	---

科目	ストラテジとマネジメント	分類	専門科目、必修科目
担当	安井 健汰		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	3
	30%	0%	0%	20%	10%	40%	100%		

1. 授業の概要

ストラテジとマネジメントに関する基礎知識の学習
基礎知識の応用方法を学習

2. 授業の目標(検定取得など)

- (1)「マネジメント、ストラテジ」の基礎知識を押さえ、経済産業省 基本情報技術者試験の科目A修了認定試験に合格する。
(2)「マネジメント、ストラテジ」の基礎知識を押さえ、経済産業省 ITパスポート試験に合格する。

3. 注意点・要望

期末試験を実施するため復習を行うこと。
講義時間は終始、要点説明が主となるため、関連科目の時間での問題演習を通して知識を自分のものとして押さえること。

4. 関連科目

検定対策Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	プロジェクトマネジメント概要、 日程管理、コスト管理	プロジェクトマネジメントの目的、PMBOK、スコープ管理、 アローダイアグラム、進捗管理、見積り技法
2	リスク管理、サービスマネジメント、 システム監査	リスク、リスクの種別、リスク対応計画、ITIL、SLA、 システム監査の目的、システム監査人、システム監査の流れ、内部統制
3	経営戦略、情報システム戦略、 業務改善、システム化企画	経営戦略、企業提携、情報システム戦略の目的・立案、システム管理基準、 BPR、ソリューションサービス、ビジネスシステム、エンジニアリングシステム
4	企業の組織、財務会計、棚卸評価、 財務分析、損益分岐点分析	企業活動、経営組織、財務諸表、棚卸評価、 財務分析、費用、利益、損益分岐点分析
5	オペレーションズ・リサーチ、 知的財産権、労働と契約の法制度	オペレーションズ・リサーチ、線形計画法、在庫管理、QC7つ道具、 インダストリアルエンジニアリング、知的財産権の種類、労働者派遣法
6	基本情報技術者試験 科目A免除対策(1)	過去問題を使用した試験問題対策(1)
7	基本情報技術者試験 科目A免除対策(2)	過去問題を使用した試験問題対策(2)
8	基本情報技術者試験 科目A免除対策(3)	過去問題を使用した試験問題対策(3)
9	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策(1)
10	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策(2)
11	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策(3)
12	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策(4)
13	ITパスポート試験対策(5)	チェックシートを使用した試験問題対策(5)
14	ITパスポート試験対策(6)	チェックシートを使用した試験問題対策(6)
15	ITパスポート試験対策(7)	チェックシートを使用した試験問題対策(7)
16	前期試験期間	効果測定

備考

-

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	ハードウェアとソフトウェア	分類	専門科目、必修科目
担当	矢野 孝裕		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	20%	20%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要
経済産業省情報処理技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「ハードウェアとソフトウェア」の知識を身に付ける
2. 授業の目標(検定取得など)
(1) 「ハードウェア」「ソフトウェア」の基礎知識を押さえ、経済産業省 基本情報技術者試験の科目A修了認定試験に合格する (2) 「ハードウェア」「ソフトウェア」の基礎知識を押さえ、経済産業省 ITパスポート試験に合格する
3. 注意点・要望
(1) 分野ごとの各項目が非常に多岐にわたるため、予習と復習をしっかりと行うこと (2) 講義時間は終始、要点説明が主となるため、関連科目の時間での問題演習を通して知識を自分のものとして押さえること
4. 関連科目
国家試験対策、セキュリティとネットワーク、情報セキュリティ、ネットワーク技術、システム設計

週	テーマ	内容
1	基礎理論(1)	基数(2進数・10進数・8進数・16進数)、基数変換 文字の表現、数値の表現(正負の表現)
2	基礎理論(2)	小数の表現と誤差、シフト演算 論理演算、オートマトンと状態遷移図、AI(人工知能)
3	プロセッサ(1) オペレーティングシステム(1)	コンピュータの種類と構成、CPUの構成と動作、アドレス指定方式 ソフトウェアの分類、OSの目的と構成・種類、OSの機能、ジョブ管理
4	プロセッサ(2) オペレーティングシステム(2)	割込みとCPUの性能、CPUのアーキテクチャと高速化技術、マルチプロセッサシステム、タスク管理、記憶管理
5	記憶装置(1) オペレーティングシステム(3)	メモリの種類と特徴、記憶階層、メモリの高速化技術と実効アクセス時間 ユーザ管理、ネットワーク管理、言語プロセッサ
6	記憶装置(2) バス ミドルウェア・開発支援ツール	補助記憶装置の種類 バスの種類と特徴、バスのアーキテクチャ ミドルウェアの種類、ライブラリ、テストツール・デバッグツール
7	入出力インタフェース 入出力装置 ファイル管理 OSS	インタフェースの種類、デバイスドライバ、入出力装置の種類、ファイルシステムの特徴、ディレクトリ管理、ファイル共有とバックアップ、OSSの種類と特徴
8	システム構成 マルチメディア	システムの処理形態と構成、クライアントサーバシステム、システムの信頼性と評価 マルチメディアの技術 マルチメディアの応用技術
9	ITパスポート試験対策(1)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習
10	ITパスポート試験対策(2)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習
11	ITパスポート試験対策(3)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習
12	ITパスポート試験対策(4)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習
13	ITパスポート試験対策(5)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習
14	ITパスポート試験対策(6)	ITパスポート試験合格に向けた問題演習
15	前期試験期間	-

備考	システム開発経験のある教員が実務上で経験した事例を踏まえながら講義を展開する
----	--

科目	ビジネス実務	分類	教養科目、必修科目
担当	高橋 豊		
テキスト (出版社)	2025年版 ビジネス能力検定ジョブパス3級 公式テキスト(日本能率協会マネジメントセンター)		
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	70%	0%	0%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

社会人にとって必要な仕事、人間関係、マナーなどのビジネス能力の基礎を学び、実務に即した技術知識を身につける。

2. 授業の目標(検定取得など)

ビジネス能力検定ジョブパス3級

3. 注意点・要望

プリント・資料を多く配布するので、きちんとファイリングすること。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	導入・概要 仕事と社会人としての意識	ビジネス実務と授業の概要を把握する。 仕事への取り組み方を学び、社会人を意識する。
2	ビジネスマナー	お辞儀、挨拶、身だしなみなどのビジネスマナーについて学び、 実践できるようにする。
3	仕事の基本	仕事の基本姿勢である8つの意識を考察し、仕事の理解を深める。
4	仕事への取り組み	業務の流れを知り、効率的な仕事の進め方を理解する。
5	指示・報告・連絡・相談(1)	指示の受け方と報告や連絡、相談のポイントとそのやり方を学ぶ。
6	指示・報告・連絡・相談(2)	指示の受け方と報告や連絡、相談のポイントとそのやり方を学ぶ。
7	情報収集とメディア	新聞やインターネットなど、さまざまなメディアから情報収集力を養う。
8	統計データの読み方	データの読み方とまとめ方を学び、その分析力を養う。
9	ビジネス文書(社外文書)	ビジネス文書の役割を把握したうえで、社外文書の書き方を学ぶ。
10	ビジネス文書(社内文書、メール)	分かりやすい文書の書き方を学び、社内文書とメールの書き方を学ぶ。
11	ビジネス用語	基本的なビジネス用語を理解して、社会人としてのスキルアップを図る。
12	業務とスケジュール管理	業務とマニュアルの効果について理解し、 スケジュール管理や情報の整理法を学ぶ。
13	話し方と聞き方、敬語(1)	ビジネスにふさわしい話し方、言葉遣いを敬語の使い方と共に学ぶ。
14	話し方と聞き方、敬語(2)	ビジネスにふさわしい話し方、言葉遣いを敬語の使い方と共に学ぶ。
15	就職対応	就職活動における基本的な所作を学び、面接の仕方や話し方を学ぶ。
16	後期試験	効果測定

備考

-

ITエンジニア科	1年
----------	----

【後期】

科目	ネットワーク技術	分類	専門科目、必修科目
担当	平野 智也		
テキスト (出版社)	本校のオリジナルテキスト		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	30%	0%	0%	20%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
シスコネットワークングアカデミーのカリキュラムをベースとして、ネットワーク技術者もしくはネットワークに強いシステムエンジニアとして必要とされる知識と技能を修得する。
2. 授業の目標(検定取得など)
2年次の目標資格であるCCNAの土台作り。ネットワークエンジニアに必要なネットワーク技術の知識の基礎を修得する。
3. 注意点・要望
ネットワーク技術の基礎知識は、CCNAだけでなく応用情報技術者試験にも必要となる。そのため、しっかりと復習を行い知識の定着を図ること。
4. 関連科目
ネットワークとセキュリティ

週	テーマ	内容
1	ネットワークとは 2進数	ネットワークについての概要(トラフィック、スループット、帯域幅 等) 2進数の演算(0~255までの10進数と2進数の相互変換)
2	OSI参照モデル	OSI参照モデルの概要とカプセル化の流れ ネットワークポロジとネットワーク機器
3	レイヤ1(1)	メディア、メディアの種類、光ファイバケーブルの分類、UTP接続、具体的なケーブルの規格、プレナムケーブル
4	レイヤ1(2)	コリジョンとコリジョンドメイン、コリジョンドメインのセグメント化
5	レイヤ1(3)	小テスト(1)
6	レイヤ2(1)	MACアドレス、16進数
7	レイヤ2(2)	宛先アドレスの指定方法、メディアアクセス制御、LAN規格、CSMA/CD方式、イーサネットフレーム形式、レイヤ2の機器
8	レイヤ2(3)	イーサネットLANのセグメント化、LANを分割する理由・分割する機器、LANセグメンテーション、全二重通信と半二重通信
9	レイヤ2(4)	小テスト(2)
10	レイヤ3(1)	MACアドレスとIPアドレスの違い、ネットワーク層のフィールド、2進数おさらい、IPアドレスのフォーマット
11	レイヤ3(2)	ネットワークアドレスとホストアドレス、IPアドレスのクラス分け、予約されているアドレス、ネットワークアドレスとブロードキャストアドレスの役割
12	レイヤ3(3)	サブネット化、サブネットマスク、ホストとサブネットのバランス、プライベートアドレス、サブネットマスクの別表記
13	レイヤ3(4)	IPアドレス計算(ネットワークアドレス、ブロードキャストアドレス、サブネットマスク)
14	レイヤ3(5)	ルータについておさらい、IPアドレスの割り当て方法、IPの主要コンポーネント
15	レイヤ3(6)	小テスト(3)
16	後期試験期間	効果測定

備考	-
----	---

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	システム設計	分類	専門科目、必修科目
担当	矢野 孝裕		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト(FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	20%	20%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要
情報処理技術者試験の出題分野である「ソフトウェア設計」を通して、IT技術を活用する者に必要な基礎知識を習得していく
2. 授業の目標(検定取得など)
(1) 「ソフトウェア設計」の基礎知識を押さえ、経済産業省 基本情報技術者試験の科目A修了認定試験に合格する (2) 「ソフトウェア設計」の基礎知識を押さえ、経済産業省 ITパスポート試験に合格する
3. 注意点・要望
情報システム開発に関する知識を通して、ITエンジニア或いはIT利活用者としての姿勢はどうあるべきか意識してください そのためにも、復習をしっかりと行って完璧な状態で授業に参加してください
4. 関連科目
ハードウェアとソフトウェア、データベース、セキュリティとネットワーク、ストラテジとマネジメント、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	システム開発技術(1)	授業の方針、システム要件定義、システム方式設計
2	システム開発技術(2)	ソフトウェア要件定義、ソフトウェア方式設計
3	システム開発技術(3)	ソフトウェア詳細設計、ソフトウェア構築
4	システム開発技術(4)	ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト
5	システム開発技術(5)	システム結合・システム適格性確認テスト
6	システム開発技術(6)	導入、受入れ支援
7	システム開発技術(7)	保守、廃棄
8	ソフトウェア開発管理技術(1)	開発プロセス・手法
9	ソフトウェア開発管理技術(2)	開発プロセス・手法
10	ソフトウェア開発管理技術(3)	構成管理・変更管理
11	ソフトウェア開発管理技術(4)	構成管理・変更管理
12	基本情報技術者試験 科目A修了認定試験対策(1)	過去問題を使用した問題対策
13	基本情報技術者試験 科目A修了認定試験対策(2)	過去問題を使用した問題対策
14	基本情報技術者試験 科目A修了認定試験対策(3)	過去問題を使用した問題対策
15	基本情報技術者試験 科目A修了認定試験対策(4)	過去問題を使用した問題対策
16	前期試験期間	-

備考	システム開発経験のある教員が実務上で経験した事例を踏まえながら講義を展開する
----	--

科目	検定対策 I	分類	専門科目、必修科目
担当	石神 和也・矢野 孝裕		
テキスト (出版社)	各種検定試験対策科目で使用しているテキストを準備すること		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	20%	20%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要

各種検定試験に対する問題演習及び見直しを行う

2. 授業の目標(検定取得など)

基本情報技術者試験科目A修了認定試験、ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

- (1) 各種検定試験については並行して受験することになるため、スケジュール管理を徹底すること
 (2) 試験直前期(1か月前)からは帰宅時間が遅くなるため、アルバイト等のスケジュール調整を行うこと

4. 関連科目

各種検定試験関係科目全て

週	テーマ	内容
1	基本情報技術者試験 科目A修了認定試験対策(1)	過去問題を使用した問題対策
2	基本情報技術者試験 科目A修了認定試験対策(2)	過去問題を使用した問題対策
3	基本情報技術者試験 科目A修了認定試験対策(3)	過去問題を使用した問題対策
4	基本情報技術者試験 科目A修了認定試験対策(4)	過去問題を使用した問題対策
5	ITパスポート試験対策(1)	チェックシートを使用した試験問題対策
6	ITパスポート試験対策(2)	チェックシートを使用した試験問題対策
7	ITパスポート試験対策(3)	チェックシートを使用した試験問題対策
8	ITパスポート試験対策(4)	チェックシートを使用した試験問題対策
9	ITパスポート試験対策(5)	チェックシートを使用した試験問題対策
10	ITパスポート試験対策(6)	チェックシートを使用した試験問題対策
11	ITパスポート試験対策(7)	チェックシートを使用した試験問題対策
12	ITパスポート試験対策(8)	チェックシートを使用した試験問題対策
13	ITパスポート試験対策(9)	チェックシートを使用した試験問題対策
14	ITパスポート試験対策(10)	チェックシートを使用した試験問題対策
15	ITパスポート試験対策(11)	チェックシートを使用した試験問題対策
16	前期試験期間	-

備考

- IT業界でシステム開発に携わった教員が講義を行う。

科目	検定対策Ⅱ	分類	専門科目、必修科目
担当	石神 和也・矢野 孝裕		
テキスト (出版社)	でる順×分野別 漢検問題集3級 五訂版(旺文社) 各種検定試験対策科目で使用しているテキストを準備すること		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	20%	20%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要

各種検定試験に対する問題演習及び見直しを行う

2. 授業の目標(検定取得など)

ビジネス能力検定(B検)ジョブパス3級、日本漢字能力検定3級、Microsoft Office Specialist Excelに合格する

3. 注意点・要望

- (1) 各種検定試験については並行して受験することになるため、スケジュール管理を徹底すること
- (2) 試験直前期(1か月前)からは帰宅時間が遅くなるため、アルバイト等のスケジュール調整を行うこと

4. 関連科目

各種検定試験関係科目全て

週	テーマ	内容
1	ビジネス検定(B検)ジョブパス3級(1) 日本漢字能力検定3級(1)	過去問題演習、見直し
2	ビジネス検定(B検)ジョブパス3級(2) 日本漢字能力検定3級(2)	過去問題演習、見直し
3	ビジネス検定(B検)ジョブパス3級(3) 日本漢字能力検定3級(3)	過去問題演習、見直し
4	日本漢字能力検定3級(4) Microsoft Office Specialist Excel(1)	過去問題演習、模擬問題演習、見直し
5	日本漢字能力検定3級(5) Microsoft Office Specialist Excel(2)	過去問題演習、模擬問題演習、見直し
6	日本漢字能力検定3級(6) Microsoft Office Specialist Excel(3)	過去問題演習、模擬問題演習、見直し
7	日本漢字能力検定3級(7) Microsoft Office Specialist Excel(4)	過去問題演習、模擬問題演習、見直し
8	日本漢字能力検定3級(8) Microsoft Office Specialist Excel(5)	過去問題演習、模擬問題演習、見直し
9	日本漢字能力検定3級(9) Microsoft Office Specialist Excel(6)	過去問題演習、模擬問題演習、見直し
10	日本漢字能力検定3級(10) Microsoft Office Specialist Excel(7)	過去問題演習、模擬問題演習、見直し
11	日本漢字能力検定3級(11) Microsoft Office Specialist Excel(8)	過去問題演習、模擬問題演習、見直し
12	日本漢字能力検定3級(12) Microsoft Office Specialist Excel(9)	過去問題演習、模擬問題演習、見直し
13	日本漢字能力検定3級(13) Microsoft Office Specialist Excel(10)	過去問題演習、模擬問題演習、見直し
14	日本漢字能力検定3級(14) Microsoft Office Specialist Excel(11)	過去問題演習、模擬問題演習、見直し
15	日本漢字能力検定3級(15) Microsoft Office Specialist Excel(12)	過去問題演習、模擬問題演習、見直し
16	後期試験期間	-

備考

- IT業界でシステム開発に携わった教員が講義を行う。

科目	HTML演習	分類	専門科目、必修科目
担当	松本 沙耶		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	授業内で配布するプリントなど		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	60%	0%	0%	40%	100%		

1. 授業の概要

HTML、webについての基本的な知識を習得する。

2. 授業の目標(検定取得など)

HTMLを理解し、webページの制作、画像作成や修正作業ができるようになる。

3. 注意点・要望

授業内で提出課題の制作を行う、こまめに行うため欠席の場合は学習内容の確認を行うこと。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	webの基礎知識・HTML入門	インターネット・webの基本概要、HTMLの基本について
2	HTML編集(1)	エディタを使用し、HTMLの編集、画像の挿入、リンクなど
3	HTML編集(2)	情報量の多いHTMLの編集、制作
4	様々なマークアップ(1)	listタグ、画像に関するタグなどについて
5	画像について(1)	web用画像データの基礎知識、簡単な画像の編集について
6	画像について(2)	画像に関するタグについて
7	様々なマークアップ(2)	tableタグ、レイアウトについて
8	webサイト制作(1)	HTML、cssを駆使して共通テーマのwebサイトの制作
9	webサイト制作(2)	HTML、cssを駆使して共通テーマのwebサイトの制作
10	webサイト制作(3)	HTML、cssを駆使して共通テーマのwebサイトの制作、アップロード
11	課題制作準備	オリジナルのwebページの制作について
12	課題制作(1)	オリジナルのwebページの制作
13	課題制作(2)	オリジナルのwebページの制作
14	課題制作(3)	オリジナルのwebページの制作
15	課題制作(4)	オリジナルのwebページのアップロード、講評
16	後期試験期間	-

備考 各種グラフィック・デザイナー業務実績をもとに授業を行う

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	Java言語演習 I	分類	専門科目、必修科目
担当	須藤 健一郎		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	50%	0%	30%	0%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要
Java言語のみならず、プログラミング言語一般で必要とされる制御文の役割と使い方を学ぶ。実際に手を動かし、プログラミング言語がどのようなものかを経験として身に付ける。
2. 授業の目標(検定取得など)
1つの言語を理解することで、他の様々な言語に対応できるようにする。 ITパスポート試験、基本情報技術者試験の合格。
3. 注意点・要望
積み上げによる学習が大事なので、基礎をおろそかにせず、一つひとつの技術を確実に身に付けること。 自らの手でプログラムを組み、頭だけでなく体で技術を身に付けること。タイピングも意識すること。
4. 関連科目
Java言語演習Ⅱ、アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション Java言語の概要と開発環境構築	授業の目標、進め方及び評価方法の理解 Java言語の概要の理解、統合開発環境(IDE)の使い方
2	プログラムの基本的な書き方	プログラムの全体構成、ブロックとインデント、コメント文、2種類のコンソール出力(printlnメソッドとprintメソッド)
3	データ型と変数	データ型の種類と役割、変数、変数の宣言
4	変数とキーボード入力	変数とキーボードから入力した値を扱う
5	式と演算子	四則演算やインクリメント、演算子の優先順位
6	分岐処理(1)	if文を使った分岐処理
7	分岐処理(2)	if-else文を使った分岐処理
8	分岐処理(3)	if-elseif-else文を使った分岐処理
9	繰り返し処理(1)	for文を使った繰り返し処理
10	繰り返し処理(2)	while文を使った繰り返し処理
11	繰り返し処理(3)	while文にif文、break文を加えた繰り返し処理
12	配列(1)	配列の仕組み、宣言と利用方法
13	配列(2)	繰り返しと配列を組み合わせたプログラム作成の基礎
14	配列(3)	繰り返しと配列を組み合わせたプログラム作成の応用
15	配列(4)	繰り返しと配列を組み合わせたプログラム作成の応用
16	前期試験期間	効果測定

備考	-
----	---

科目	Java言語演習Ⅱ	分類	専門科目、必修科目
担当	須藤 健一郎		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	50%	0%	30%	0%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要

Java言語のみならず、プログラミング言語一般で必要とされる制御文の役割と使い方を学ぶ。
Java言語の重要概念である「オブジェクト指向」の基礎を身に付ける。

2. 授業の目標(検定取得など)

1つの言語を理解することで、他の様々な言語に対応できるようにする。
ITパスポート試験、基本情報技術者試験の合格。

3. 注意点・要望

積み上げによる学習が大事なので、基礎をおろそかにせず、一つひとつの技術を確実に身に付けること。
自らの手でプログラムを組み、頭だけでなく体で技術を身に付けること。タイピングも意識すること。

4. 関連科目

Java言語演習Ⅰ、アルゴリズムとデータ構造Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	前期復習、メソッド(1)	前期復習 メソッドの構造と作成方法、引数・戻り値の理解、呼び出し方法
2	メソッド(2)	メソッドの構造と作成方法、引数・戻り値の理解、呼び出し方法
3	クラスとインスタンス	オブジェクト指向の考え方、クラス構造、クラスとインスタンス作成
4	カプセル化	カプセル化の目的、実装(フィールド隠蔽、ゲッター・セッター)
5	クラス図	クラス図の見方
6	コンストラクタ	コンストラクタの概要と使い方
7	中間課題(1)	1~6週で学んだ内容を用いたプログラムを完成させる
8	中間課題(2)	1~6週で学んだ内容を用いたプログラムを完成させる
9	オーバーロード	オーバーロードの概要、実装方法
10	継承(1)	継承の概要、実装方法
11	継承(2)	継承の概要、実装方法
12	コンストラクタと継承	継承におけるコンストラクタの特徴、実装方法
13	最終課題(1)	1~12週で学んだ内容を用いたプログラムを完成させる
14	最終課題(2)	1~12週で学んだ内容を用いたプログラムを完成させる
15	最終課題(3)	1~12週で学んだ内容を用いたプログラムを完成させる
16	後期試験期間	効果測定

備考

-

科目	Office演習 I	分類	専門科目、必修科目
担当	森廣 永江		
テキスト (出版社)	Microsoft Office Specialist Excel 365 & 2019 対策テキスト&問題集(FOM出版)		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	40%	30%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要

表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す。

2. 授業の目標(検定取得など)

Microsoft Office Specialist Excel2019に合格する。

3. 注意点・要望

- (1) 単に操作を覚えるのではなく、必要な場面で使える様に知識の定着を図ること。
- (2) 毎回テキストを忘れないようにすること。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	ガイダンス	MOS試験について、成績評価について、環境の確認、EXCELの基本
2	Excel2019 演習(1)	セルやセル範囲のデータの管理
3	Excel2019 演習(2)	セルやセル範囲のデータの管理
4	Excel2019 演習(3)	セルやセル範囲のデータの管理
5	Excel2019 演習(4)	出題範囲2 確認問題
6	Excel2019 演習(5)	ワークシートやブックの管理
7	Excel2019 演習(6)	ワークシートやブックの管理
8	Excel2019 演習(7)	ワークシートやブックの管理
9	Excel2019 演習(8)	出題範囲1 確認問題
10	Excel2019 演習(9)	テーブルとテーブルのデータの管理
11	Excel2019 演習(10)	テーブルとテーブルのデータの管理
12	Excel2019 演習(11)	テーブルとテーブルのデータの管理
13	Excel2019 演習(12)	出題範囲3 確認問題
14	Excel2019 演習(13)	数式や関数を使用した演算の実行
15	前期試験期間	-

備考

システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるEXCELの知識を講義する。

科目	Office演習Ⅱ	分類	専門科目、必修科目
担当	森廣 永江		
テキスト (出版社)	Microsoft Office Specialist Excel 365 & 2019 対策テキスト&問題集(FOM出版)		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	40%	0%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要

表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す。

2. 授業の目標(検定取得など)

Microsoft Office Specialist Excel2019に合格する。

3. 注意点・要望

- (1)繰り返し問題演習を行うこと。
- (2)毎回テキストを忘れないようにすること。

4. 関連科目

Office演習Ⅰ、検定対策Ⅱ

週	テーマ	内容
1	Excel2019 演習(1)	数式や関数を使用した演算の実行
2	Excel2019 演習(2)	出題範囲4 確認問題
3	Excel2019 演習(3)	グラフの管理
4	Excel2019 演習(4)	グラフの管理
5	Excel2019 演習(5)	グラフの管理
6	Excel2019 演習(6)	出題範囲5 確認問題
7	Excel2019 演習(7)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策
8	Excel2019 演習(8)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策
9	Excel2019 演習(9)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策
10	Excel2019 演習(10)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策
11	Excel2019 演習(11)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策
12	Excel2019 演習(12)	模擬試験プログラム、練習問題を利用した試験対策
13	PowerPoint2019 演習(1)	基本操作の練習
14	PowerPoint2019 演習(2)	基本操作の練習
15	PowerPoint2019 演習(3)	プレゼン資料の作成
16	後期試験期間	-

備考

システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるEXCELの知識を講義する。

ITエンジニア科	1年
----------	----

【前期】

科目	やってみなはれ演習 I	分類	教養科目、必修科目
担当	石神 和也・矢野 孝裕		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
様々な事を題材に、社会人としてのヒューマンスキル向上を目指す。
2. 授業の目標(検定取得など)
3年間で共にする同じ学科の仲間を知り、結束を高める。
3. 注意点・要望
真剣に楽しむことを考慮し、精一杯対応する。
4. 関連科目
-

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション	3年間の資格および就職活動スケジュールの共有
2	目標とアクションの明確化(1)	前期目標を定め、ドキュメント化する
3	交流(1)	クラス・学年全体での結束を高める
4	交流(2)	クラス・学年全体での結束を高める
5	交流(3)	クラス・学年全体での結束を高める
6	目標とアクションの明確化(2)	前期目標および研修合宿を振り返り、目標の再設定を行う
7	交流(4)	クラス・学年全体での結束を高める
8	交流(5)	クラス・学年全体での結束を高める
9	交流(6)	クラス・学年全体での結束を高める
10	目標とアクションの明確化(3)	前期目標を振り返り、目標の再設定を行う 体育祭へどのように向き合うべきかの共有も行う
11	能力の実践(1)	体育祭でのクラス・学年の競技に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
12	能力の実践(2)	体育祭でのクラス・学年の競技に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
13	目標とアクションの明確化(4)	前期目標を振り返り、目標の再設定を行う 文化祭へどのように向き合うべきかの共有も行う
14	能力の実践(3)	若幸祭でのクラス・学年の協議に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
15	前期振り返り	前期振り返りと夏休みの計画について

備考	- IT業界でシステム開発に携わった教員が講義を行う。
----	-----------------------------

科目	やってみなはれ演習Ⅱ	分類	教養科目、必修科目
担当	石神 和也・矢野 孝裕		
テキスト (出版社)	-		
参考資料	-		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

様々な事を題材に、社会人としてのヒューマンスキル向上を目指す。

2. 授業の目標(検定取得など)

3年間で共にする同じ学科の仲間を知り、結束を高める。

3. 注意点・要望

真剣に楽しむことを考慮し、精一杯対応する。

4. 関連科目

-

週	テーマ	内容
1	オリエンテーション	3年間の資格および就職活動スケジュールの再共有
2	目標とアクションの明確化	後期目標を定め、ドキュメント化する
3	基礎的・汎用的能力の実践(1)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
4	基礎的・汎用的能力の実践(2)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
5	基礎的・汎用的能力の実践(3)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
6	基礎的・汎用的能力の実践(4)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
7	基礎的・汎用的能力の実践(5)	若幸祭でのクラス企画に関し各人役割を担い、各役割に応じた活動
8	振り返り(1)	4～7週に行った内容及び若幸祭全体について各グループ振り返りを行い、できた点・改善点をクラス・学年全体で共有
9	振り返り(2)	4～7週に行った内容及び若幸祭全体について各グループ振り返りを行い、できた点・改善点をクラス・学年全体で共有
10	基礎的・汎用的能力の向上(1)	学年イベントの意義の共有 学年イベントの企画立案
11	基礎的・汎用的能力の向上(2)	学年イベントの企画立案
12	基礎的・汎用的能力の向上(3)	学年イベントに向けた準備
13	基礎的・汎用的能力の向上(4)	学年イベントの実施
14	振り返り(3)	10～13週に行った内容について各グループ振り返りを行い、できた点・改善点をクラス・学年全体で共有
15	振り返り(4)	10～13週に行った内容について各グループ振り返りを行い、できた点・改善点をクラス・学年全体で共有
16	後期振り返り	後期振り返りと春休みの計画について

備考

- IT業界で8年以上システム開発に携わった教員が講義を行う。

